

薩摩川内 広報

7

July.2020

お知らせ版

No.379



<https://www.city.satsumasendai.lg.jp>

薩摩川内市産 新茶の贈呈式



6月10日(水)、薩摩川内市茶業振興会など市内茶生産者団体の代表者から、令和2年度産の新茶の贈呈が行われました。

これは、本市産茶のPRや地産地消の理解を深めてもらうため行われたもので、今年の新茶も味、香りに優れた品質の高い緑茶が生産されているようです。

てらやまんち森の学校 開校！

6月12日(金)、少年自然の家で、今年度最初の事業となるてらやまんち森の学校が開催され、スリッパ掛けの制作が行われました。

悪天候の中ではありましたが、開催を心待ちにしていたたくさんの参加者に恵まれ、笑顔が溢れるすてきな時間となりました。



熱中症対策に 大綱緑茶塩あめ贈呈

6月23日(火)、有限会社お茶のぶどう園から、大綱緑茶塩あめ(40kg)が贈呈されました。この塩あめは、暑い時期のマスク着用などによる熱中症が危惧されることから、今後、高齢者団体やシルバー人材センターなどに配布され、今夏の熱中症対策に活用されます。



79年の時を経て

本市中村町出身で、太平洋戦争時、出征地の硫黄島で戦死した岡元友義さん(当時27歳)の日章旗が同町在住の遺族、岡元由美子さんに返還されました。

これは、友義さんが熊本の部隊召集時に、同町飯母集落の方々が贈ったと見られるもので、硫黄島で日章旗を拾った元アメリカ兵の息子が、太平洋戦争史研究家、ダニエル・キング氏に返還を依頼しました。

旗に記載されている人名や部隊名、地名などから出身地や戦没者を特定。県護国神社、市遺族会などを通じ、今回返還されたものです。また、硫黄島で採取された砂も贈られました。由美子さんは「遺骨はないが、旗だけでも地元に戻って来られた。」と話す一方で、「出征したらこういう形でしか帰って来られない。戦争のない平和な今が一番いい。」と話されました。

日章旗郷里に還る



◀硫黄島で採取された砂

「まちの話題」は、市民の皆さんから情報提供をいただき、身近な話題を掲載しています。ぜひ投稿ください。